



単元 5

産業の特色



映像
教科書
P.158～161

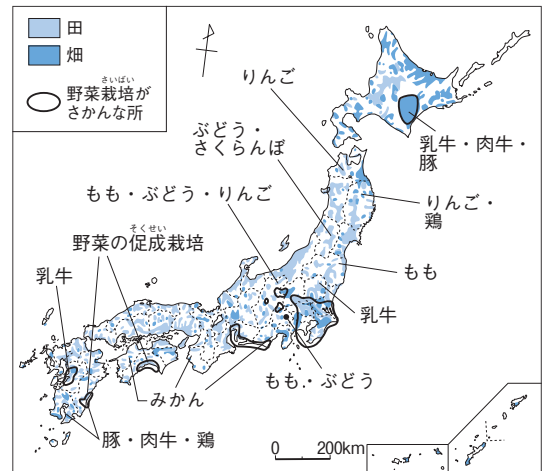
学習のまとめ

① 日本の産業分類／日本の農業・林業・漁業 (図表のワーク①～⑥) 教科書 P.158・159

(1) 産業分類…第1次産業→農業・林業・漁業。第2次産業→工業や建設業など。第3次産業→商業・サービス業。農村部では第1次産業、太平洋側の都市部では第2次産業・第3次産業の就業割合が高い。

(2) 日本の農業…食料自給率が低いという課題がある。

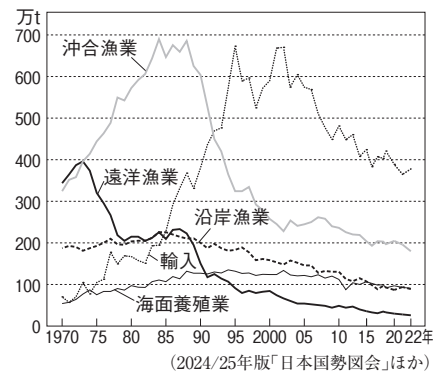
- ① 稲作…北陸や東北地方の平野で特にさかん。
- ② 野菜栽培…大都市の周辺では、大都市向けに野菜などを栽培する近郊農業。大都市から離れた地域では促成栽培や抑制栽培→価格が高い時期に出荷。
野菜の成長を早める
野菜の成長を遅らせる
- ③ 畜産…北海道地方や九州地方で大規模に行われる。飼料の多くを輸入に頼る。農業産出額が最も多い。



▲A日本の農業地域

(3) 日本の林業…日本は森林が多いが、低価格の輸入木材により低迷→近年は木材の輸入の不安定さから見直しの動き。

(4) 日本の漁業…かつては遠洋漁業や沖合漁業がさかん→近年は養殖業や栽培漁業もさかんになっている。
卵から育てた稚貝や稚魚を放流して海で育ったものをとる



▲B日本の漁業の変化

② 日本の工業 (図表のワーク⑦・⑧・⑩～⑫) 教科書 P.159

(1) 日本の工業の特色…繊維工業などの軽工業から始まり、しだいに重化学工業に移り、さらに先端技術産業(ハイテク産業)へと発展。
繊維、食品、印刷など
機械、金属、化学

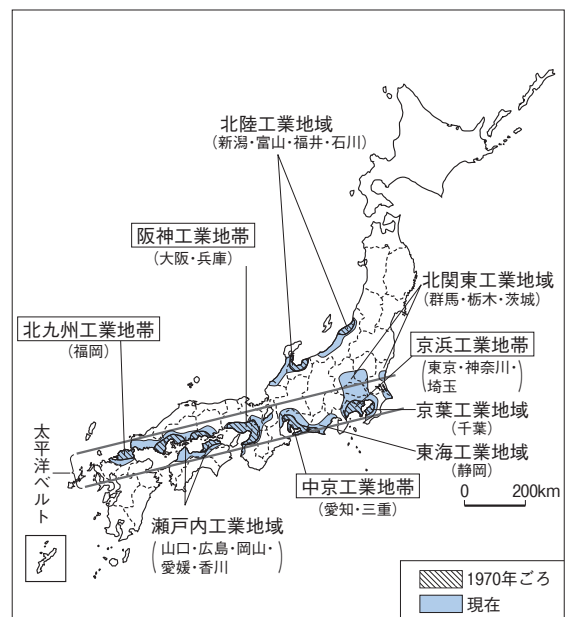
(2) 臨海部の工業地域…第二次世界大戦後に石油化学コンビナートや製鉄所が、輸出・輸入に便利な臨海部に立地。太平洋ベルトで重化学工業が発展。

(3) 内陸部の工業地域…1970年代以降、輸送機械工業や電気機械工業などの組み立て型の工業が立地→内陸の高速道路沿いや空港付近に新しい工業地域が形成。

(4) 変化する日本の工業…1980年代にアメリカ合衆国などとの間で貿易摩擦が発生→多くの日本企業が海外へ進出して現地貿易の不均衡により関係国間で生じる問題 賃金の安い中国や東南アジアにも進出生産を行う→一部の工業では国内生産が衰退し、産業の空洞化が進む。

③ 日本の商業・サービス業/変化する産業 (図表のワーク⑨) 教科書 P.160・161

(1) 第3次産業…第3次産業には、商業やサービス業がある。
小売業と卸売業 宿泊、飲食、教育や医療、福祉など
近年、情報通信技術(ICT)が発展→情報・通信に関連する業種が成長。高齢化が進む→医療や福祉に従事する人が増加。
日本の第3次産業就業割合は約4分の3を占め、特に大都市圏や北海道や沖縄県でその割合が高い。
観光産業がさかん



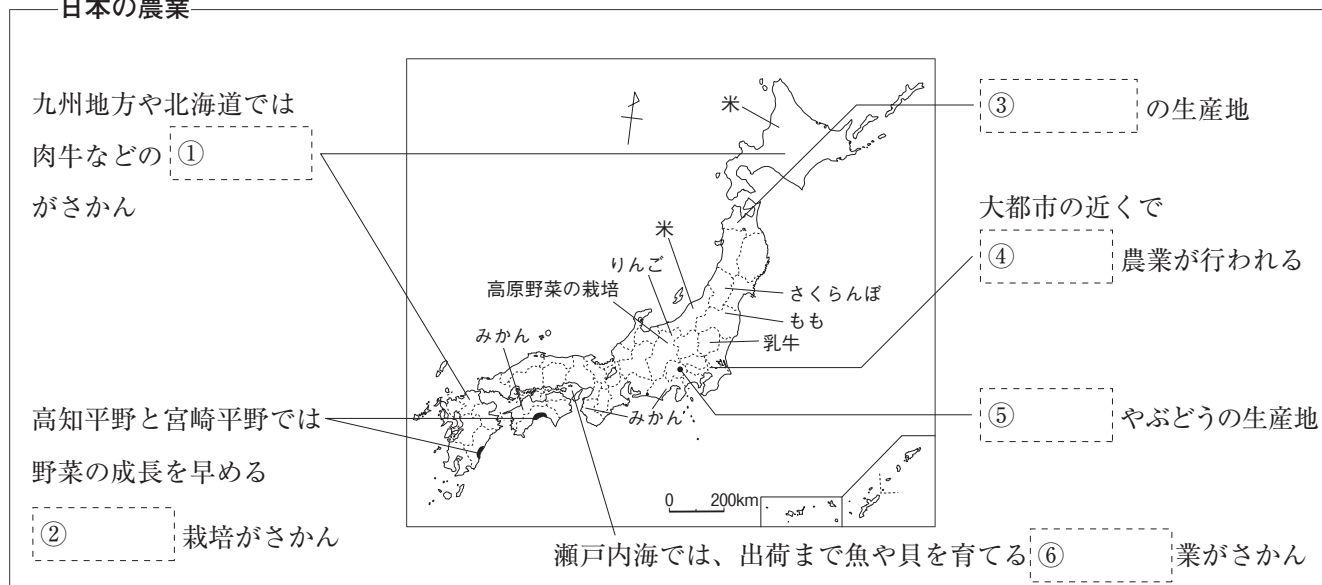
▲C日本の工業地帯・地域

(2) 日本の産業の変化…農業や林業、漁業などの第1次産業就業者が第2次産業や第3次産業も手がけて商品価値を高める「6次産業化」が進む。また、24時間営業の店舗や電子商取引が急増している。

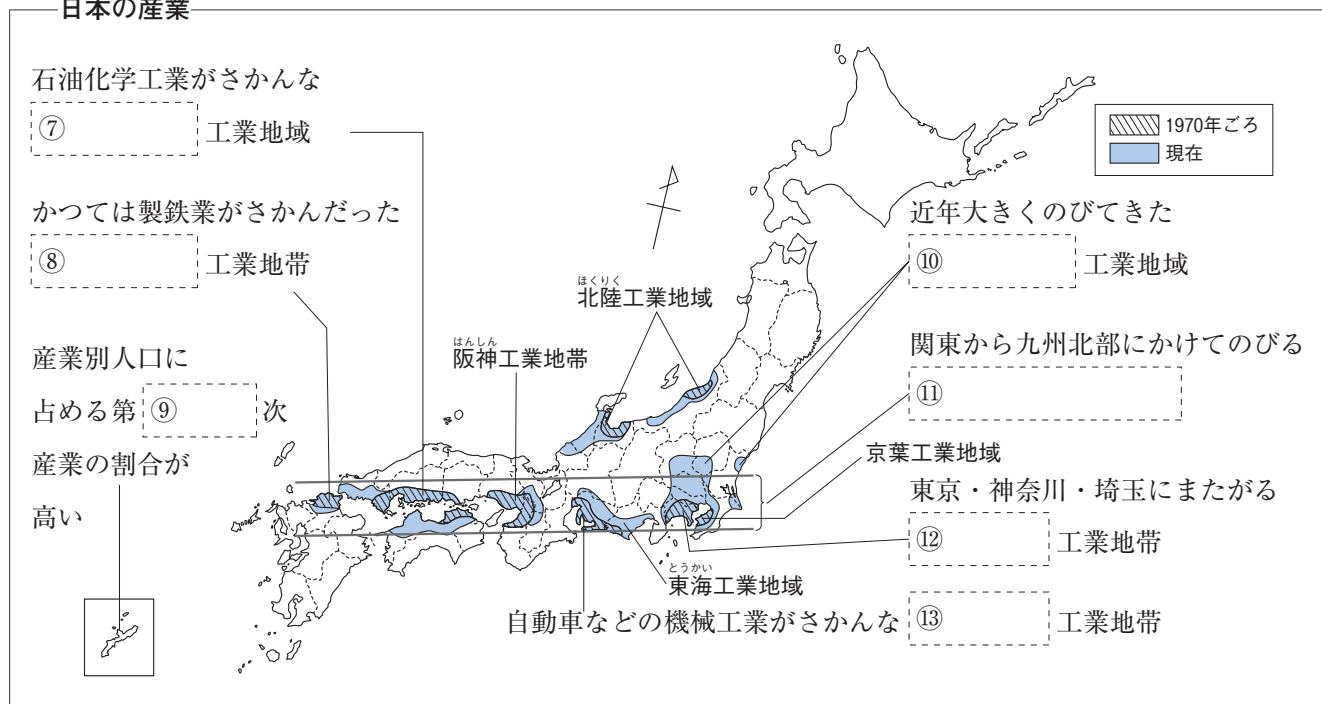
図表のワーク

学習のまとめを見て
図表を完成させよう

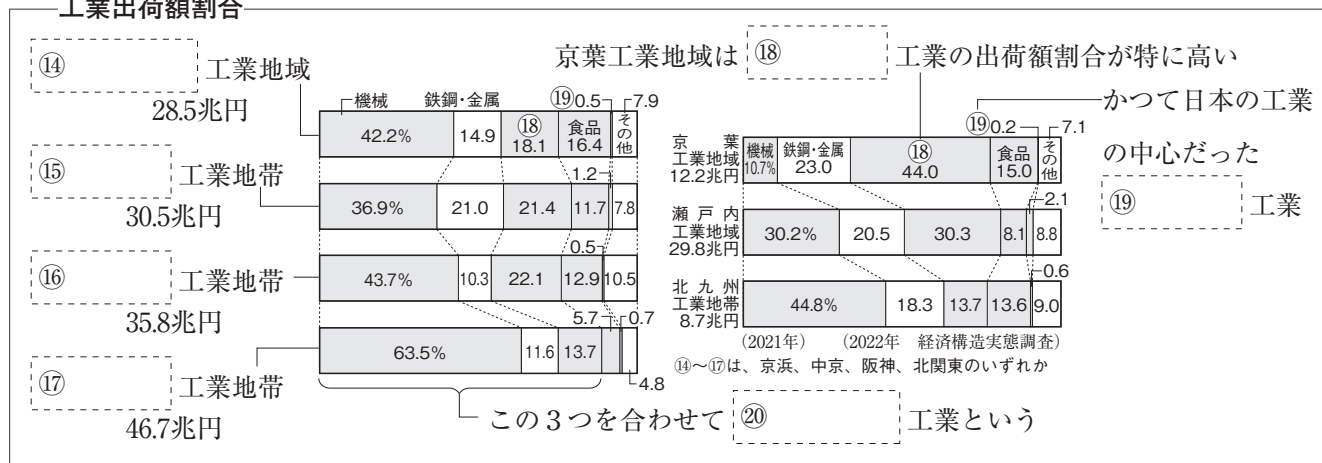
日本の農業



日本の産業



工業出荷額割合



確認問題

→類題演習 P.111

① 日本の産業分類／日本の農業・林業・漁業 次の文中の〔 〕から、最も適当な語句を選んで答えなさい。

- (1) 農業・林業・漁業は、〔第1次産業 第2次産業〕に分類される。 ()
- (2) 工業や建設業は〔第2次産業 第3次産業〕に分類される。 ()
- (3) 日本で特に稲作がさかんな地方は、東北地方と〔北陸 九州地方〕である。 ()
- (4) 大都市の近郊では、大消費地向けに野菜などを生産する〔近郊農業 混合農業〕がさかんに行われている。 ()
- (5) 農作物の成長を遅らせて出荷時期をずらす工夫をした栽培方法を〔促成栽培 抑制栽培〕という。 ()
- (6) 西日本の温暖な地域では、〔りんご みかん〕の栽培がさかんである。 ()
- (7) 九州地方や北海道地方では〔畜産 果樹栽培〕がさかんで、農業出荷額が最も多い。 ()
- (8) 日本の〔食料自給率 森林率〕は、他の先進国と比べてひじょうに低い。 ()
- (9) 1970年代前半から1980年代にかけて、〔遠洋漁業 養殖業〕の漁獲量が減った。 ()
- (10) 日本の漁業のなかで、漁獲量が最も多いのは〔沖合漁業 沿岸漁業〕である。 ()
- (11) 稚魚や稚貝になるまで魚や貝を人工的に育てて放流し、成長したあとにとることを〔養殖業 栽培漁業〕という。 ()

② 日本の工業 次の問いに答えなさい。

- (1) 繊維や食料品など、おもに日常生活で使う軽い製品をつくる工業を何というか。 ()
- (2) (1)に対して、金属工業・機械工業・化学工業を合わせて何というか。 ()
- (3) 半導体の生産など、高度な技術を必要とする工業を何というか。 ()
- (4) 愛知県・三重県に広がる、機械工業がさかんな工業地帯を何というか。 ()
- (5) 九州地方北部から関東地方にかけて帯状に広がる、工業がさかんな地域を何というか。 ()
- (6) (2)の工業の1つで、自動車・オートバイ・飛行機などをつくる組み立て型の工業を何というか。 ()
- (7) 1980年代にアメリカ合衆国などとの間に生じた、貿易を原因とする問題を何というか。 ()
- (8) 日本企業の海外進出や日本企業の海外工場からの工業製品の輸入が増え、国内の一部の工業では生産が衰退した。この現象を何というか。 ()

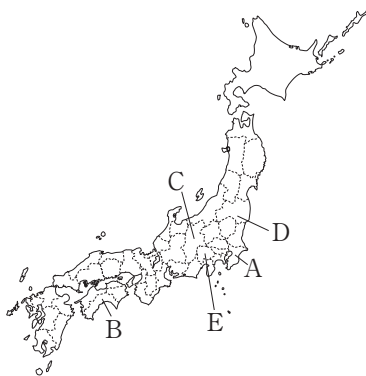
③ 日本の商業・サービス業／変化する産業 次の文中の□に当てはまる語句を答えなさい。

- (1) 第3次産業に分類される□は、小売業と卸売業に分けられる。 ()
- (2) 第3次産業に分類される□には、医療・福祉、教育などがある。 ()
- (3) 近年、特に□が急速に発展したことから、情報・通信に関連する業種が成長している。 ()
- (4) 近年、第1次産業の就業者が第2次産業や第3次産業も手がける□が進んでいる。 ()
- (5) インターネットで商品やサービスを売買する□が、急速に普及してきている。 ()

練習問題

1 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 地図中のA県では、大都市の消費者向けに新鮮な野菜などを栽培する農業がさかんである。このような農業を何というか。
- (2) 地図中のB県では、ビニールハウスを利用して野菜の成長を早める農業が行われている。このような栽培方法を何というか。
- (3) 地図中のC県では、夏でも涼しい気候を利用して、野菜の成長を遅らせる農業が行われている。このような栽培方法を何というか。
- (4) 地図中のD県やE県で共通してさかんに栽培されている果樹を次から選び、記号で答えなさい。
ア りんご イ もも ウ みかん エ 日本なし
- (5) 漁業のうち、卵から人工的に育てた稚貝や稚魚を放流して、成長したものをとる漁業を何というか。

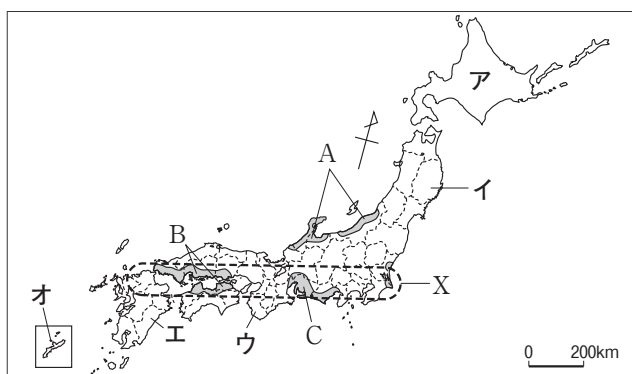


1 学習のまとめ ①

- (1) _____
- (2) _____
- (3) _____
- (4) _____
- (5) _____

2 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 右の地図中のXで示した、工業がさかんな地域を何というか。
- (2) 地図中のA・Bの工業地域名をそれぞれ答えなさい。
- (3) 日本で最も工業出荷額が多いCの工業地帯名を答えなさい。
- (4) 日本の工業の変化について述べた次の文中の□①～③にあてはまる語句をあとのア～ウからそれぞれ選び、記号で答えなさい。
日本の工業は、繊維工業などの□①から始まり、しだいに大きな設備が必要な□②に移り、さらに高度な技術や知識を必要とする□③へと発展してきた。
ア 先端技術産業(ハイテク産業) イ 軽工業 ウ 重化学工業
- (5) 1980年代に、日本とアメリカ合衆国との間で□がおこったため、多くの企業が海外へ進出して現地生産を行うようになった。□にあてはまる語句を、漢字4字で答えなさい。
- (6) 観光客が多く、第3次産業の就業者割合が特に高い都道府県を地図中のア～オから2つ選び、記号で答えなさい。
- (7) 第3次産業のうち、商業に分類されるものを、次から選び、記号で答えなさい。
ア 教育業 イ 宿泊業 ウ 小売業 エ 飲食業



2 学習のまとめ ②・③

- (1) _____
- (2) A _____
- B _____
- (3) _____
- (4) ① _____
- ② _____
- ③ _____
- (5) _____
- (6) _____
- (7) _____

Key プラス

1 右の資料を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 資料Ⅰ中のア～ウは、東北地方・関東地方・九州地方のいずれかの農業産出額の内訳を示している。①東北地方、②九州地方にあてはまるものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- (2) 日本の農林水産業の特色や課題としてあてはまらないものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 米の産出額は畜産の産出額を上回っている。
イ 食料自給率がひじょうに低い。
ウ 近年、国産材の利用が注目されている。
エ 近年、養殖業がさかんになっている。

- (3) 日本で木材の輸入が増えた理由を「国産材」と「輸入材」の2つの語句を使って説明しなさい。

- (4) 資料Ⅱは日本の産業別人口割合を示しており、A～Cは第1次産業・第2次産業・第3次産業のいずれかである。Bに含まれる産業を次から選び、記号で答えなさい。

- ア サービス業 イ 建設業 ウ 林業 エ 商業

- (5) 資料Ⅲは、都道府県別の就業人口に占める第3次産業の割合が75%以上の都道府県を示したものである。資料Ⅲについて説明した次の文中の□にあてはまる内容を「人口」と「経済活動」の2つの語句を使って簡単に書きなさい。

産業別人口に占める第3次産業の割合が75%以上の都道府県には、観光産業がさかんな北海道や沖縄、□などが含まれる。

- (6) 第3次産業のうち、サービス業に含まれる産業を次からすべて選び、記号で答えなさい。

- ア 教育 イ 医療・福祉
ウ 運輸・郵便業 エ おろしうり卸売業

- (7) 資料Ⅳ中のア～ウは、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、百貨店のいずれかの販売額の変化を示している。①コンビニエンスストア、②百貨店にあてはまるものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。

資料Ⅰ

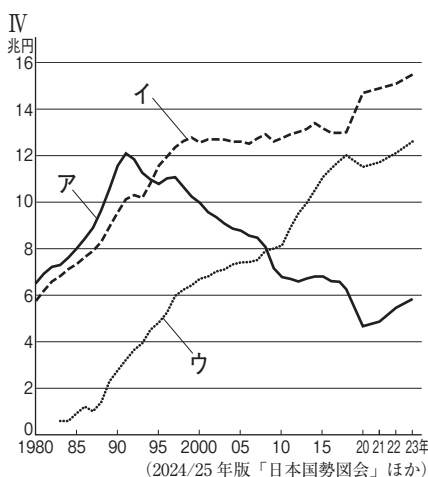
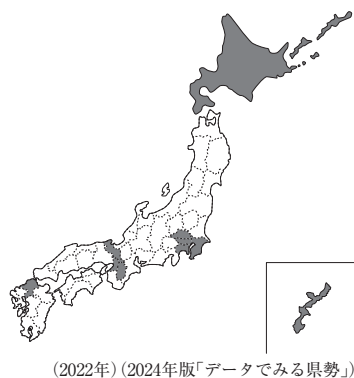
	米	野菜・いも類	果実	畜産	その他
ア	7.4%	26.3	7.4	49.2	9.7
イ	12.5%	41.1	3.3	34.8	8.3
ウ	26.7%	17.6	17.4	34.7	3.6

(2022年) (農林水産省資料)

資料Ⅱ

	A 3.0%	分類不能 1.9
B 22.8	C 72.3	

(2023年) (2024/25年版「日本国勢図会」)



1の答え

(1) ①

②

(2)

(3)

(4)

(5)

(6)

(7) ①

②

